

Book Review

自著を語る・・・五十嵐 博一



技術評論社の「しくみ図解シリーズ」から『電気設備が一番わかる』という電気設備の入門書を上梓しました。

電気設備の入門書は数多く出版されています。私も新入社員時代から今日まで、この手の本を何冊も読んで勉強してきました。しかし、それらの多くは理論や数式の解説、

データ掲載などに多くの紙面を割いており、堅い教科書的なイメージでした。中にはマンガを使って親しみやすさを演出している本もありましたが、内容はあくまでも現場の技術者向けに書かれたものです。何の基礎知識もない新入社員や事務系の人たちには、全く理解できないだろうと思えるものばかりでした。

そこで、「いつかは自分の手で、電気設備のことを何も知らない新入社員や事務系の人でも理解できるように電気設備の入門書を書いてみたい」と考えていました。今回、縁があって「しくみ図解シリーズ」の執筆依頼をいただき、長年の希望を叶えることができました。

この本のコンセプトは、“私自身が新入社員のときに読みたかった本”です。「何の基礎知識もない状態でも、ざっと読めば電気設備の概要を理解できる」ということに主眼を置き、理論や数式は一切なしにして、多くの写真やイラストを掲載しました。

余談ですが、電気室をリアルなイラストで表現するため、某ビル地下にある開放形電気室に若い女性のイラストレーターを連れて行ったのですが、電気室内部を見ていたちょうどそのときに東日本大震災に遭うという忘れ難い思い出もできました。